

メンバーのみなさんへ

おかげさまをおもちまして、9月にレッスンを再開することができました。「これからも被災地の生の声、様子を教えてくださいね」「がんばってください」などとみなさんから、あたたかいお言葉を頂戴し、ありがとうございます。私は、9月の初旬にNPO法人のボランティアバスで陸前高田市へ行ってきました。8か月以上もたっているのに・・・と感じました。東北はこれから雪がたくさんふります。瓦礫の山は真っ白い雪に覆われて、作業もストップされるかと思います。被災地の方が雪解けにまたどんな思いになるのか考えただけでつらいです。陸前高田のボランティアセンターにはたくさんの方がいらしてました。学生さん2人で単独であったり、真っ白なバス全面に応援メッセージの寄せ書きが書かれた水戸のボランティアバスがあったり・・・でもみなさん前向きで元気です。私達も元気で頑張らなきゃとこちらが元気を頂くこともしばしばです。

前回のレッスン、ギフトのご注文の売り上げの一部を、あしなが育英会に寄付ととうきょう発ボラバス応援隊に支援金として送金させていただきましたことご報告させていただきます。とうきょう発ボラバス隊は私が石巻市へボランティアに行った時お世話になった団体です。復旧の遅れに追い打ちをかけるように、9月の台風で甚大な被害が出てしまった石巻市の牡鹿半島前網浜仮設住宅から毛布のニーズにお応えするため、支援金を送金させていただきました。以下報告メールを頂戴しました。これからも、微力ですがチャリティーレッスンを続けていきたいと思っております。

↓

寄付毛布 SOSにご協力くださった皆様へご報告です。

SOS募金でこんなにたくさん届けることができました。

- ・ふんわり毛布 40セット←前網浜仮設住宅へ
- ・日本製石油ファンヒーター2台←牡鹿 VC へ
- ・ペットボトルのお茶 72本←くじらのしっぽ（パンを作っている作業所）

たくさんの方の支援が集まったので、かなりいい毛布を全員分買うことができました。

さらに牡鹿ボランティアの拠点も寒さに凍えていましたので、ヒーター（日本製!!）を届けました。

私達参加者の昼食を作っている作業所にもリクエストのお茶を届けました。

仮設やボランティアセンターと連携をとり、買い物と配達はこちらまげ仙台支部より配車と運転のご協力いただきました。みなさんの素早い動きとご協力に現地の方々も喜んでいました。このスピードは私達民間ならではの、です。

宮城県内の仮設住宅の寒さ対策工事は始まったばかり。全戸終わるのは12月中旬予定です。

岩手、福島では最初から対応済みなのに…遅すぎる！これからもニーズが出てくると思います。

これからも現地に寄りそっていきましょう！！

とうきょう発ボラバス応援隊

佐々木 彩(Aya Sasaki) HP :<http://www.tkyvola.sactown.jp>

新山浜



石油ファンヒーター寄付



前網浜仮設住宅に毛布寄付

